お買い得品出る

十一月十七日野菜共進会

第三回野菜産地共進会が、横芝小学校を会場に開催されます。この共進会は、山武農業改良普及所松尾支所管内六町村における主要野菜について、その栽培技術の改善、品質向上、流通の合理化等を図り、市場競争に対応できる近代的な集団産地育成とその真価を高めることを目的として実施されるものです。松尾、成東と過去二回にわたり実施されて来ましたが、本年は、事務局を横芝町役場産業課内において、この運営に当ることになっているそうです。

すでに成田周辺には、ニュータウン等の建設なども行なわれており、これらのお合所を賄なうに相応しい野菜産地として進展していくことでしょう。期日、出品資格等については次のとおりです。

主催　横芝町
松尾農業改良普及事業協議会
期日　十一月十七・十八日
会場　横芝小学校講堂
出品種類
にんじん、ねぎ、里いも、こんにゃく、大和いも、トマト、キュウリ、白菜、大根、ニラ。

尚、十八日八時からは出品された野菜の予約販売も行なうそうです。

タバコの消費税

一千五百万円

町民の皆さんが、町内のタバコ小売店でタバコ一個（二〇本入りタバコの平均）を買いますと、専売公社から町に対し、十三円八十七銭の「タバコ消費税」が納入されます昭和四十四年度には「タバコ消費税」が一千五百九万六千円納入されました。この額は昭和四十四年度町税総額の約十七パーセントを占め町にとっては、大きな財源になっております。愛煙家の皆さん、「タバコ」をお求めになるときは是非町内でお買い下さいまた、旅行や通勤などで遠くへお出かけの時も、できるだけ町内のたばこ店でお求めの上お持ち下さるようお願いいたします。

建設のあゆみ

10月～11月

完成した事業

①	町営住宅敷地造成工事	1.310㎡
②	県営　〃	3.574㎡
③	立会青年館新築工事	147.1㎡

11月着工及び工事中の事業

①	横小増築工事	923.2㎡
②	関場青年館新築工事	79.2㎡
③	上町　〃	82.625㎡
④	消防署分署新築工事	411.968㎡
⑤	県営住宅新築工事	30戸
⑥	町営　〃	10戸
⑦	道路改良水路改修工事	
	宮前三本松線	474.5 m
⑧	道路舗装工事	
	長倉遠山線（長倉地内）	730 m
	東町地内	140 m
	県道桜前地先	1,270 m
	県道坂田池地先	334 m
	県道中台地先	400 m
	県道屋形宮前地先	350 m
	栗山火の見～カントリーエレベーター	200 m

加入した方が得

年金の所得比例

国民年金では、所得比例制が十月から実施されました。

この制度は、二十五年間納付したものに対し月額八、〇〇〇円を支給していた年金をさらに所得比例分を加えて月額一二、五〇〇円の年金を受けられるようにしたものです。

所得比例制の対象となる人は所得のある被保険者です。所得のないもの、保険料の免除を受けている人は加入できません。所得比例制の保険料は三五〇円で、定額分（四五〇円）と合わせて一ケ月八〇〇円となります。

この制度に加入した場合、納付期間が二十五年で定額分（八、〇〇〇円）と合わせて月額一二、五〇〇円、四十年で定額分（一二、八〇〇円）と合わせて月額二〇、〇〇〇円の年金が受けられます。ですから、夫婦で国民年金に加入し、夫が所得比例制に加入していると夫婦で月額二万円（二十五年納付）の年金が受けられます。

この制度は、保険料を納付しなければ、所得比例制の資格が自動的になくなりますので納め忘れないようにしてください。なお、来年一月からの農業者年金の加入者は、国民年金の所得比例制にも加入しなければならないことになっています。

老後の備えは、多いにこしたことはありません。より多い年金を確保するため、この所得比例制への加入をおすすめします。

上堺の海保君二位入

賞安全運転競技大会で

横芝町役場を会場に、成東署、同署管内交通安全協会主催で、安全運転技能競技大会が小雨降る十一日、乗用車、小型トラックなど、六十五台が参加、横芝町からも十二台が出場、成東署管内四十数キロのコースで競われた。町出場者のうちから二位に、上堺地宮前海保英之君（役場勤務）と四位には、同地区本郷（同所勤務）の林紘君が入賞した。

午前十時ラリー車は、第一番目の審査項目である、始業点検を行い、役場前を次々に出発した。採点は減点法により行なわれ、各自に二百十二点が与えられ、コースの重要地点では協会の役員が目を光らせており通行するラリー車の採点を行っていた。

横芝俳壇

横芝句会
九月例会作品抄

土屋　栗水
秋霖は鉄灯籠の錆に泌む
石川　奇水
すいっとの点や音して灯の襖
斉藤ちくろ
秋の喜雨老いの鍬取る午後の晴れ
川島　啓明
寄せ書きの既に亡き名や秋の雨
玉虫　たけし
虫籠を下げ日雇の農夫来る
宇都木吐句志
虫の声冴ゆるや楽譜あるごとく
斉藤得志郎
黄昏や綿飴の如き雲の峰
斉藤　石人
虫かごの屍ゆする風のあり
若梅あやめ
娘の縁談まとまりかけしあかね雲
田島　千女
月まつる芒に夕波たたみくる
藤代　ゆう
吟詠のはばかるなしやきょうの月
高埜　孝子
物静か素肌に感ずる秋の雨
渡辺きよ子
笛の音も添えてほしいや十六夜
斉藤　幸子
フェリーの行く手に浮ぶ雲の峰

犬吠岬の中秋
土屋　栗水
磯へ降りる経らし薄分けてあり
月の波浴衣の裾をしめらする
月を待つ静寂や砂を踏む音も
汐風に痩せし鳥井や月の浜
潮騒の草に音を張るきりぎりす